

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	8	言葉を目にするだけで「難しい」という先入観をもってしまうがちであり、現状身近でそれらを活用しているケースが無いため、研修としての優先順位が低くなっている。	出来るだけ多くの職員が基本的知識の一つとしてとして制度を理解する。	・パンフレット(イラスト等が入ったものが受け入れやすい)を回覧する。 ・事業所内での学習会の実施。 ・外部研修へ参加。 ・外部研修での学習内容の発表の場を設けることで知識の定着を図る。	12ヶ月
2	25	介助を要す方が多いため、どのような身体介助が必要かという点を中心となってしまっている。また、職員それぞれが日々入居者の皆さんと接する中で、多くの情報を持っていながら、それらを記載できる様式が整っていないため、送りや口頭での情報共有となっている。	認知症を理解し、確実な情報共有ができる。	・学習会を実施し認知症ケア及び介護保険についての理解を図る。 ・個別ノートなどを作成し、日々の気付きを記入していく。	6ヶ月
3	37	避難訓練は実施しているが、全職員の参加は困難であるが、基本的事項(消火器の場所・非常電話の場所)等については訓練でなくとも伝達することは可能である。簡単に出来ることをしていないことをまず反省し、避難訓練などの災害対策への考え方を改めたい。	避難訓練への全職員の参加。	・入職時には最低限の防災用品設置場所及び避難口を確認する。 ・防災マニュアルを定期的に読み返す。 ・避難訓練の実施回数を増やす。	12ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のを記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。